

平成 16 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	44	学校名	県立那珂高等学校				課程	全日制		学校長名	中里 矩明					
教頭名	菅谷 政司								事務長名	菊池 覚						
教職員数	教諭	27	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	3	実習教諭実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	37
生徒数	小学科		1年		2年		3年		合計		合計クラス数					
			男	女	男	女	男	女			男	女				
	普通科		61	100	58	102	69	90			188	292	12			

2 目指す学校像

教育基本法，学校教育法，及び本県の教育目標の趣旨に則り，知・徳・体の調和的発達を旨として，旺盛な勉学の気風を高めるとともに，個性の確立と心身ともに健全な人格の完成を期し，平和な国家及び社会の形成者たり得る人物の育成に努める。そのため，学習指導の充実を図るとともに国際理解教育及び特別活動の充実を図る。また，地域の進学校として，生徒一人一人の個性及び希望を尊重した進路指導を推進し，進路目標の実現を目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒の家庭学習時間が少なくなっている。大半は1～2時間程度で，ほとんどしないという生徒もでてきている。	学習意欲の高揚及び家庭学習習慣をどのように確立させるか。
進路指導	入学時には，大半が四年制大学進学希望者であるが，卒業時には半数が専門学校への進学になっている。	望ましい職業観と入学時の進路希望をどのように育成し実現させてゆくか。
生徒指導	服装・言葉遣い等の乱れ，公共物を大切にす心の希薄化，遅刻者の増加等の傾向がやや見られるようになってきた。	基本的な生活習慣や規範意識をどのように確立をさせてゆくか。
特別活動	学校行事，部活動とも活性化の傾向が見られるが，いくつかの活発でない生徒会各種委員会が見られる。また，男子生徒数の減少により部活動での男子生徒の確保が難しくなっている。	生徒の自立的な取り組みをどう推進するか，また，中学生へのPRをどのように推進するか。
国際理解教育	治安の安全確保を考慮しオーストラリアとの交流を推進しているが，本校の本来の国際理解教育の姿である交換留学の形態がとれていない。	本校の本来の国際交流の姿である交換留学をどのような形で推進するか。

4 中期的目標

1	生徒の意欲的な学習を促すために、より生徒の進路目標に応じた選択の幅の広い教育課程を編成するとともに、教科指導に関する研修を充実し、教育内容の改善を図る。
2	大半の生徒の入学時の進路目標である四年制大学への進学率をあげるため、生徒・保護者面談、進路ガイダンス等の充実を図るとともに、課外授業や各種校外模試への参加を推進する。
3	基本的生活習慣を確立させるために継続的な根気強い指導にあたりるとともに、ホームルーム活動の充実を図る。
4	本校での意欲ある学校生活を目ざす生徒の確保とバランスのとれた男女構成を目ざし、本校教育活動の中学校等への広報活動の充実を図る。
5	安全で、より効果的な国際理解教育を推進するため、比較的治安のよいオーストラリアとの交流の充実を図る。
6	積極的に情報を公開するとともに、保護者、地域及び学校評議員等の意見を学校運営に生かしてゆく。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	基礎学力の定着及び望ましい学習習慣の確立と学習指導の充実 四年制大学への進学率の向上 規範意識の確立や豊かな人間性の育成 部活動への積極的な参加 外国語、異文化との交流 学校情報の積極的な公開	1学年の英語で少人数学習を実施する。また、科目の年間指導計画の工夫改善により学習指導の充実を図るとともに予習・復習の習慣化により家庭学習を充実させる。 個人面談、インターンシップ、進路ガイダンス等の充実により、早期に進路目標を確立し、入学時の希望進路の実現を図る。 時間厳守、挨拶の励行、きちんとした身だしなみ等の定着を図るとともに学校周辺及び後台駅までの清掃活動に取組み、社会への貢献意識を涵養する。 部活動への1年次全員加入及び男子生徒の加入を推進する。 オーストラリアの交換留学可能な対象校を開拓し、交換留学を推進する。 学校評価結果及び教育活動状況の保護者、中学校、地域への広報に努める。	
2年次	個々の生徒の進路希望に応じた教育課程の編成と学習指導の充実 四年制大学への進学率の向上 規範意識の確立や豊かな人間性の育成 部活動への積極的な参加 外国語、異文化との交流 学校情報の積極的な公開	3学年の教育課程を3類型に分けるとともに選択科目の幅を拡げ、生徒の進路希望に対応した教育課程の編成に努める。また、シラバスを作成し学習指導の充実を図る。 個人面談、インターンシップ、進路ガイダンス等の充実及び課外授業の一層の充実させ、入学時の希望進路の実現率向上を図る。 時間厳守、挨拶の励行及び校則遵守精神の涵養を図るとともに学校周辺及び後台駅までの清掃活動に取組み、社会への貢献意識を涵養する。 部活動への1年次全員加入及び男子生徒の加入を推進する。 海外短期留学の派遣時期を検討し、派遣人員数の増と研修内容の充実を図る。 教育活動状況の保護者、中学校、地域への広報の一層の充実を図る。	
3年次	個々の生徒の進路希望に応じた教育課程の編成 四年制大学への進学率の向上 規範意識の確立や豊かな人間性の育成 部活動への積極的な参加 外国語、異文化との交流 学校情報の積極的な公開	選択科目の一層の充実を図るとともにシラバスの充実及び評価システムの工夫検討により学習指導の充実を図る。 個人面談、インターンシップ、進路ガイダンス、課外授業等を一層充実させ、各種校外模試への積極的な参加を促し、入学時の希望進路の実現率の向上を図る。 時間厳守、挨拶の励行及び公共マナーアップの精神の涵養を図るとともに学校周辺及び後台駅までの清掃活動に取組み、社会への貢献意識を涵養する。 部活動への1年次全員加入及び男子生徒の加入をより一層推進する。 オーストラリアとの交換留学のより一層の充実を図る。 教育活動状況の保護者、中学校、地域への広報の一層の充実を図る。	